



まちづくり・コミュニティ

町会・自治会

防犯・防災・みまもり

こども

教育

シニアライフ

健康

スポーツ

芸術・文化・趣味

環境

ふくしとサポート

NPO・ボランティア

国際交流

男女共同参画

農業・商工業

ホーム > 市民レポーター > ひばりが丘団地「水辺のビオトープ」Part 1

### ひばりが丘団地「水辺のビオトープ」Part 1

#### 《小さな生き物たちが暮らす池》

この池は、水辺の草花、チョウチョやトンボ、メダカやカエルなどの小さな生き物などが暮らす池（水辺のビオトープ）です。そんな小さな生き物たちは、ちょっとしたことで暮らせなくなることもあり、みんなで池を守っていく必要があります。それにはみなさんの手助けが必要です。



★手助けその1

○池に食べ物を入れないようにしましょう。

＊水辺の生き物には、きれいな水が必要です。池に浮いた食べ物の油や泥んだ食べ物は水を汚してしまいます。

★手助けその2

○生き物たちの暮らしを暖かく見守りましょう。

＊この池にはカルガモが来ることがあります。カルガモは雑食性ですが、草の葉・茎・種子などが主要食です。子カモも同じです。その自然のルールを大切に、親が子育てする姿を暖かく見守りましょう。

★手助けその3

○日頃から注意深く観察しましょう。

日頃のちょっとした手助けで、生き物の暮らす池を守っていくことができます。みんなで手助けしていきましょう。

UR都市機構

こんにちは、新米市民記者の《空》です。ひばりが丘団地「水辺のビオトープ」周辺の季節の移り変わりを草花や稲の成長を通してお伝えして行きたいと思います。

「水辺のビオトープ」は団地周辺の植物や鳥、昆虫などを調べそれらが棲みやすい環境の一部として作られたそうです。

小さな生き物達の暮らしをそっと見守って下さい。

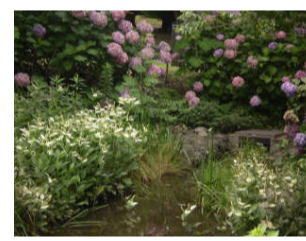


ビオトープにある小さな水田です。「ひばりが丘団地緑のワーク」の皆さんが中心となり5月16日に田植えが行われました。

梅雨空の下、成長した苗の緑が一段と鮮やかです。

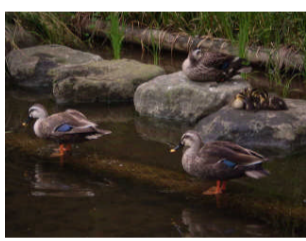


8月には稲の花が咲き、10月初めには稲刈り・はぜかけが予定されています。



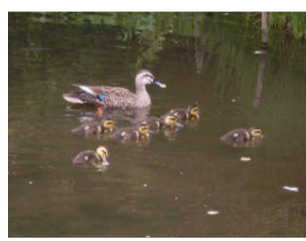
6月～7月にかけて水辺を涼しげに紫陽花や半夏生（ハンゲショウ）の花が彩ります。

葉の一部だけが白くなるので「半化粧」と思っていました！



親鳥に見守られ石の上で一休み。（7月3日撮影）

6月23日に8羽生まれ6羽がスクスクと育っています。



この愛らしく、のどかな姿に思わず足を止め見入ってしまいます。



井戸水の湧出口がありました。1日平均10tの水が湧き出ているそうです。



ビオトープをはじめ団地の花壇の手入れをしているのは「ひばりが丘団地緑のワーク」の皆さんです。



四季折々の花が道行く人の目を楽しませてくれます。



真夏に向かい次はどんな花が咲いてくれるのでしょうか？

楽しみです！

